



黒鳥4番組 集落営農（法人化もにらんで）の 基本的枠組み案

○集落営農組織をめざしましたが、要件に合致しないため農事組合法人を設立することになりました。



機械

トラクター

- 個人所有を基本
- えだまめ等に使用する農業者が多いため、更新も基本的には自分で
- 自分で更新しない場合は組織へ作業委託も可能

田植機

- H19から組織で所有
- 黒鳥4番組全体で8条植2台が適当
- 個々の現有機械は処分

コンバイン

- 当面は自分で所有
- 個人で更新はしない
- 機械が壊れた農業者から徐々に組織へ作業委託
- 時期を見て組織で機械を更新

乾燥機

- 当面は自分で所有
- 個人で更新はしない
- 機械が壊れた農業者から徐々に組織へ作業委託
- 時期を見て組織で建屋を入手し、更新

作業

○田植え作業をH19から組織対応

- ・田植え作業は、連休は組織で台数に応じた班体制を組んで対応
- ・連休以降は個別対応
(個別対応の日当は、10a当たりいくらかで組織の実績に合わせる)

○田植え以外は当面個別対応 (委託したい場合は組織へ委託し、基本的には内部で調整)

○管理委託料を個々に支払う

経理

○米の収入は組織

- ・農家毎の番号制とし、等級まで個人別に把握
- ・出荷の送付状に個人番号記載
- ・収量・等級別に管理委託料を調整

○支出

- 支出のうち、以下を一元管理
- ①育苗時の資材(種、土等)
 - ②肥料・農薬の基本部分
 - ③その他材料費
 - ④田植え時の経費
 - ・減価償却費
 - ・修繕費
 - ・田植え時の労賃
(10,000円/日:8時間)
 - ・田植え時のトラック借り上げ料
(3,000円/日)
 - ⑤管理委託料
(基幹作業委託も含める)

栽培

- 品種:コシヒカリ(その他希望で検討)
- 肥料:基本的には統一

- ・JAのみにこだわらず、総合判断でいいものを仕入れる方針
- ・栽培履歴については複数も可能

○農薬:基本的には統一

- ・基幹防除は黒埼地域病害虫防除協議会の指定薬剤を基本

その他

○飯米

- ・各構成員が必要飯米量を申告し、役員が確認の上、出荷せず飯米とする。
- ・法人の経理上は、販売額として計上する。
- ・実際のお金の流れでは、農業者が受け取る作業委託料と相殺する。

収支

	従来	組織	組織参加農家
収入	米販売 稲特等	米販売 作業受託 品目等	管理委託 日当 地代等
支出	資材 機械等	資材、機械、 日当、 管理委託、 地代等	個別機械、 個別資材、 借入地代等
所得	収入-支出	同左	同左

※大まかに言えば・・・

- 田植機、田植作業を平成19年から組織で対応
- 今後、トラクター以外のコンバイン、乾燥機等基幹作業機は、壊れた時に個人では買わないことをルール化
→適当な時期に組織で対応
- 稲作に関する経理は、収入・支出を組織で一元化
- 肥料・農薬は基本的には組織で統一
- 稲作の所得は現在とあまり変わらない方向(米価が下がれば別)→将来的には稲作の合理化と米づくりの受け皿を実現